

第1回サイエンス・コ・ラボ 実験レポート

秀光 年・特進2年 T3組3番 氏名 柳澤 久幸

期日	平成24年 7月14日(土)	テーマ	霧箱の製作と自然放射線の観察
場所	化学室	指導者	東北大学 丹羽 助先生

1 実験記録（器材、手順、実験内容など）

① 霧箱による自然放射線の観察

- 実験に用いたサンプル
NCホーリ2T3前階段下 物品庫
→6月から閉鎖して風が入りにくいようにして、サンプルをタスキサンプラーで回収。
- 実験内容
サンプルを原源としてナリに含まれる自然放射線を観察。

② サイコロを用いた放射能の減衰

- サイコロを箱の中でふり、特定の目のもののみ取り出して数える。
これを10回行う。
→減っていく原理か放射能の半減期と同じくみ

2 実験結果

① 実験から分かったことや疑問点

・霧箱による観察

原源からあちこちに飛出させていた。短いものもあり、10mくらいとも飛出するものもあった。原源については方は活発に飛出させていたが、その反対側では少なかった。しかし、時々「モク~」といったものの集団のような飛出がされていた。

→自然放射線は多岐、複雑でいる。

② 興味深かった点

- 同じ放射線でも、出している飛跡が異なっている。
一直線のものが、「モク~」といった感じのものまで、本邦ではみやめた
ということ。
- 原源の反対側からも放射線が飛出させていたということ。
- 他の人の霧箱での飛出の仕方が異なっていた。→原源の量の問題か??